

平成30年度

橋梁技術発表会及び講演会

参加費無料
定員 **200** 名
申込先着順

会場

東建ホール・丸の内(東建本社3F)

〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-1-33
TEL 052-232-8070

13:00~13:10

開会の辞

一般社団法人 日本橋梁建設協会
副会長 桑田 敦

第1部:技術発表会

13:10~13:50

1.「合成桁の設計例と解説」の改訂について

~こんなに変わった合成桁の設計~

設計小委員会 設計部会 板垣 定範

13:50~14:30

2.動き出した鋼橋の大規模更新

~床版取替え工事における床版形式の選定から維持管理まで~

床版小委員会 床版施工部会 石川 孝

14:30~14:40

休憩

14:40~15:20

3.トルコ、イズミット湾横断橋の工事報告

~上下部一括デザインビルドによる長大吊橋の建設~

海外事業委員会 高井 祐輔

15:20~15:35

橋建協報告

~これからの墜落事故防止対策~

安全委員会

15:35~15:45

休憩

第2部:特別講演会

15:45~16:45

想定外の地震動に対応するため、動的解析の利用とその限界

愛知工業大学 教授
鈴木 森晶

16:45~16:50

閉会の辞

(公社)土木学会 中部支部
支部長 本田 敦

平成30年

日時

10

金

12

13:00~16:50

申込方法

ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>
の「技術発表会申し込み受付け」まで
(受付は平成30年8月31日~9月28日)

申込期限

平成30年9月28日(金)

連絡先

一般社団法人 日本橋梁建設協会 中部事務所
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-7-9
高田機工内 TEL 052-951-0200

継続教育

土木学会認定CPD(継続教育)プログラム
全国土木施工管理技士会連合会認定CPDSプログラム

他地区

大阪地区は	10月 5日(金)	ドーンセンター
九州地区は	10月26日(金)	レソラNTT夢天神ホール
北海道地区は	11月 2日(金)	北海道経済センター
東北地区は	11月16日(金)	仙台国際センター
東京地区は	11月21日(水)	銀座プロッサムホール

にて開催です。

(6地区開催ですが、発表テーマは異なります)
申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

アクセス

●名古屋市営地下鉄 桜通線・鶴舞線「丸の内」駅下車
1番出口より徒歩1分

1 「合成桁の設計例と解説」の改訂について

～こんなに変わった合成桁の設計～

「合成桁の設計例と解説」は、鋼橋設計の入門書として多くの方々にご利用頂いておりますが、この度、H29年の道路橋示方書改定に合わせて13年ぶりに改訂いたしました。今回の道示改定では、設計供用期間として100年を標準とすることが定められ、設計手法も従前の許容応力度設計法から部分係数設計法へと大きく変わりました。また、設計に求められる要求性能も耐荷性能、耐久性、その他性能に大別され、耐荷性能の照査については、最大断面力を二つの限界状態で照査するなど、今までになかった全く新しい概念が導入されています。これらに準拠した改訂版のポイントや留意点について執筆者が分かり易く解説します。

2 動き出した鋼橋の大規模更新

～床版取替え工事における床版形式の選定から維持管理まで～

鋼道路橋の鉄筋コンクリート床版(以下RC床版)は、開通から30年以上経過したものも多く、当時の設計基準により設計・施工されているものは、現在の基準に適合するように補強を行いながら供用している。また、塩害・凍害等の材料劣化や車両荷重・交通量の増大により、複合的に劣化が促進される場合があり、進行すれば陥没等の大きな損傷が発生する。このため、多くの路線で更新工事が立案・実施されている。

RC床版の取替え工事は、架橋地点の施工環境や橋梁の構造形式により様々な制約条件があり、それぞれの条件に応じて施工幅員や取替え床版の形式を選定する必要がある。また、限られた時間の中で行うことが多く、必要な工種を把握し、入念な施工計画を立案する必要がある。このため、橋建協ではRC床版の取替え施工を行う際に利用できる「床版取替え施工の手引き」を発刊した。発表会では、手引きに沿って床版取替えの概説を分かり易く発表します。

3 トルコ、イズミット湾横断橋の工事報告

～上下部一括デザインビルドによる長大吊橋の建設～

2016年7月、世界有数の地震地帯であるトルコに世界第4位の長さを有するイズミット湾横断橋(正式名称:オスマン・ガーズィー橋)が開通した。本工事は上下部一括のデザインビルドであり、海底40mの軟弱地盤への海中主塔基礎の設置など厳しい条件の中、わずか施工期間3.5年で開通にこぎつけた。発表では、耐震性の確保と短納期での完工を両立させた構造上、施工上の工夫などについて紹介します。

特別講演会 講演者紹介

想定外の地震動に対応するため、動的解析の利用とその限界

鈴木 森晶 愛知工業大学 教授

講演概要

道路橋示方書に動的解析が導入され久しいが、改訂が重ねられる毎に、鋼橋、特に橋脚の地震時挙動把握のために、動的解析への依存度が高まっている。しかし、動的解析は万能ではなく、その限界を知った上で利用をする必要がある。

今回は、同じ地震動でも、それを与える順番や方向を変更することで、全く異なる挙動を示す可能性があることを示す。熊本地震の教訓も踏まえ、連続的に発生する地震動に対しての動的解析の用い方の例についても示す。

一 略歴一

平成 2年3月 名古屋大学工学部土木工学科卒業
平成 4年3月 名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻博士課程前期課程修了
平成 7年3月 名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻博士課程後期課程満了
平成 7年4月 名古屋大学助手 工学部土木工学科
平成 9年4月 愛知工業大学 工学部土木工学科 講師
平成13年4月 愛知工業大学 工学部土木工学科 助教授
平成19年4月 愛知工業大学 工学部都市環境学科 准教授
平成24年4月 愛知工業大学 工学部都市環境学科 教授
平成27年4月 愛知工業大学 工学部土木工学科 教授
現在に至る

一 専門分野一

構造工学、耐震工学

平成30年度

10月12日(金)

橋梁技術発表会

[中部地区]

参加申込方法



一般 日本橋梁建設協会
Japan Bridge Association Inc.

ホームページよりお申込み下さい。

http://www.jasbc.or.jp/

「技術発表会」
の申し込みはこちら。